



例会報告

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F

- 会 長 鍋島 勝雄
- 幹 事 中村 良平
- 会報委員長 粟原 藤義



「和太鼓と手筒花火 2010」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

先週の浴衣例会は、親睦委員会の企画にて、奥様にも参加していただき有り難うございました。酒を飲みゲームを楽しみ親睦を深めることが出来ました。



今月 15 日、お盆の墓参りに行き、菩提寺にお参りをした際に、「竹に上下の節あり・松に古今の色なし」と書いて有りました。人間関係には上下が有り平等では無いが、松の様に季節によって緑色を変えず何時も平等であると言う意味です。二つの句を使っている事は、平等と言っても区別は有り、区別が有っても平等であるから本来の姿を認めあつてこそ円満で、人生の先輩後輩という年齢による上下関係も認め合いながら、お互いの領域を大切にしたいです。又料理の和え物は、それぞれの味を引き立たせて美味しくしますが、ミキサーに掛けてジュースにしてしまったら、それぞれの個性を殺してしまいます。自分の個性をそのままに、相手の個性も認め合うことが『和』だと思います。和でいる事は相手を敬うことだと思います。

13 日の歴代会長会を開催してこの句の大切さが身に染みしました。

◎ガバナーより

- ・ロータリーカード入会キャンペーンのお知らせ
期 間 7 月 1 日～8 月 3 1 日(入会申込書到着分まで)
内 容 期間中入会の 1 名につき、ゴールドカードは 1,000 円、スタンダードカードは 500 円を地区年次寄付実績に加算

◎ガバナー、「ロータリーの友」事務所地区代表委員より

- ・クラブでの活動に関する情報提供のお願い
 - (1) 水、ポリオ撲滅、識字率向上についての活動
縮切 8 月 2 9 日
 - (2) 家族を巻き込んだロータリー活動
縮切 9 月 2 5 日
 - (3) クラブまたは地区での広報活動について
縮切 1 0 月 2 5 日
- 提出 ガバナー事務所まで F A X にて

◎(財)米山梅吉記念館より

- ・秋季例祭のご案内
日 時 9 月 1 8 日(土)
14:00～ 講演「ロータリーの曙」田中毅氏(尼崎西 RC)
16:30～ アトラクション JAZZ ピアノ 菅野邦彦氏
会 場 米山梅吉記念館ホール 静岡県駿東郡長泉町

◎地区大会実行委員長より

- ・地区大会でのクラブ活動状況報告について提出のお願い
用 途 「友愛の広場」での PR 用として
仕 様 A1 (約 8 4 c m × 約 6 0 c m) サイズのカラープリント仕上げ
*レイアウト・写真枚数等は自由。
*タイトル・活動内容説明文等を記載下さい
縮 切 9 月末日までに地区大会事務局まで

<幹事報告>

◎RI本部より

- ・「2010-11年度 RI カタログ」

◎RI日本事務局より

- ・9月のロータリーレートについて
1 ドル 8 6 円 (現行 8 8 円)



例会報告

◎高山ライオンズクラブより

- ・高山5クラブ親善ゴルフ大会のご案内
- 日時 10月11日(月・祝) 8:00スタート(out, in同時)
- 場所 飛騨高山カントリークラブ
- 表彰式 ザ・アリス 18:00～ (下一之町87)
- 参加費 8,000円 *プレー代は各自で清算願います。
- 申込締切 10月1日(金)

◎リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会より

- ・リニア中央新幹線に関する講演会の開催について
- 日時 9月9日(木) 14:30～16:00
- 場所 セラミックパークMINO「国際会議場」
- 講演 「リニア開業が岐阜県に与えるイパクトについて」
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 宮下充宏氏

<例会変更>

- 高山…………… 9月9日(木)は、高山3RC合同ガバナー公式訪問例会のため
13日(月) 12:30～ひだホテルラヂオに変更
- 9月23日(木)は、法定休日のため 休会
- 9月30日(木)は、濃飛分区IMのため
10月2日(土) 高山グリーンホテルに変更
- 高山中央…………… 9月6日(月)は、HC高山練習視察例会のため
18:30～ 飛騨高山ビッグアリーナに変更
- 9月20日(月)は、法定休日のため 休会
- 可茂…………… 9月1日(水)は、ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため
3日(金)12:30～ シティホテル美濃加茂に変更
- 9月8日(水)は、早朝清掃奉仕活動のため
7:30～ 川合公園 に 変更
- 9月29日(水)は、定款により休会
- 可児…………… 8月26日(木)は、納涼例会&在日ブラジル人グループとの交流会のため(株) 亀井建設に変更
- 9月2日(木)は、ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため
3日(金) 12:30～シティホテル美濃加茂に変更
- 9月16日(木)は、稲刈り例会のため
久々利の田んぼ に変更
- 9月23日(木)は、法定休日のため 休会
- 9月30日(木)は、濃飛分区IMのため
10月2日(土) 高山グリーンホテルに 変更

- 加茂東…………… 9月2日(木)は、ガバナー公式訪問4クラブ合同例会のため
3日(金)12:30～シティホテル美濃加茂に変更
- 9月23日(木)は、法定休日のため 休会
- 10月7日(木)は、濃飛分区IMのため
2日(土) 高山グリーンホテルに変更
- 10月28日(木)は桜植樹後の手入れ作業のため
17日(日)9:00～川辺町山楠公園に変更

<受贈誌>

財団法人米山梅吉記念館(館報Vo16)、(財)ロータリー米山記念奨学会(ハイライトよねやま126)、美濃加茂RC(会報)、高山市(高山市デンバー市姉妹提携50周年記念誌)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	休会	のため	補正	ありま	せん
本日	38名	—	38名	45名	86.36%

<本日のプログラム> インターアクト委員会



地区インターアクト旗の引き継ぎ

田近IAC年次大会実行委員長より

飛騨高山高校IAC部長 山下さんへ

韓国派遣報告

飛騨高山高校IAC部長

山下 華菜さん

私は飛騨高山高校三年山下華菜です。今年の7月27日から7月31日までの五日間、私



例会報告

は日韓の交換留学生として日韓親善のため、韓国について学ぶため、遊ぶため韓国派遣へと行って参りました。韓国は海を挟んでお隣国ですが、日本とどこか似ていて、でも違う。そんなホームステイを私は体験してきました。

1日目は、日本を出発するところからはじまりました。朝早くに家を出て、中部国際空港へ。それから私達は韓国へと旅立ちました。



そして約2時間というあっという間のフライトで韓国へ到着し、それから、ホームステイ先の家族と会うためにソウル市内までバスで移動しました。右上の写真はバスの中でコカ・コーラをいただいたのですが、書いてある文字が当然ながらハングル文字でした。街をあるいても、日本とそっくりな建物なのに眼に飛び込んでくる文字は見慣れない字がたくさんありました。小さなことですが、私は本当に韓国へと来たんだと実感した瞬間です。

ソウル市内へと到着した後は、日本の留学生と韓国のインターアクト生徒・ホスト家族との晚餐会でした。私はそこで、ホスト先の家族とはじめて会いました。晚餐後、ホスト家庭へと送っていただきました。



韓国では夜10時や11時くらいまで普通に外で買物をしたり遊んだりすることが普通だそうで、私達はその日の夜ホスト先家庭の女の子と一緒に買物に行きました。夜9時に

降に友達とだけで外へと出るのは、初めてで、ドキドキしながら私は拙い英語と、韓国語でコミュニケーションを取りながら買いものを楽しみました。右の写真は、ホームステイ先の女の子とその娘の友達の方と一緒にとった写真です。彼は、日本語がとても上手で、韓国では日本語を学んでいる学生がとても沢山いるということを知りました。しかし日本では逆に韓国語を学んでいるという学生が多いというのは聞かないので、とても不思議な気持ちになりました。



左の写真は、日本で言う「カルメ焼き」らしいです。韓国バージョンのカルメ焼きは韓国ではかなりポピュラーなお菓子で、日本のそれとは違ってハート型や星型などの絵が描いて

あり可愛かったです。

2日目・3日目は韓国での年次大会でした。日本の年次大会のように講話を聞いたりしました。韓国の年次大会では日本の年次大会のようにパフォーマンスがあるのですが、パフォーマンスを行うのが私

達日本からの留学生だけではなく韓国の学生の方々も行いました。各学校ごとのパフォーマンスだったのですが、どの学校も華やかな衣装やパフォーマンスで聞いていたとおりとてもパワフルでした。私達もダンスを披露したのですが、舞台に出たとたんから韓国の学生からの歓声がとてもすごくてダンスをしている側としてもとても楽しかったです。まるでお祭りのようで、こんな年次大会は初めてでした。



韓国派遣4日目は、景福宮という韓国が朝鮮時代だった時の王宮の勤政殿とその周辺の見学をしました。韓国の歴史的建造物の中で最も大きな建物らしく、私は沖縄の首里城とよく似た作りだと思いました。韓国研修で、私はこの勤政殿の見学が一番楽しかったです。

勤政殿は、門にしる本殿にしる、とてもカラフルな色合いでつくられていて、落ち着いた色が中心の日本のお寺や神社とはかなり違っていました。これは私の憶測ですが、沖縄の首里城や、韓国の景福宮（勤正殿）など王宮というものはやはり豪華にしようとするから昔の人はあんな素敵な色合で建てたのではないかと思いました。韓国と日本の

建造物の関連性についても興味湧きました。右上の写真は、ちょうど私たちが訪れた時に門番の交代式が行われていたときに



撮った写真です。鮮やかな衣装がとても綺麗でした。

私は日本の学生と2人で一緒にホームステイをしました。ホスト先はお母さんお父さんそして3人兄弟で弟におねえちゃんが2人いました。韓国の子は英語が使えるというのを聞いていましたが、私達がホームステイした家庭では、英語を話せるのが私と同年代の子だけで



でした。一番下の男の子も少し英語が話せるだけであとは、韓国語の本を片手に、頑張ってコミュニケーションを取りました。伝わらなかつた英語があまり伝わらず、戸惑

ったりもしましたが、ホスト家庭のお母さんは大きな身振り手振りでお伝えようとしてくれてとても嬉しかったです。お父さんは、もし仕事

例会報告

などで日本に行くことがあったら私達に合いに来てくれると言ってくれました。彼らは私にとってとても素敵な家族だと思います。



私が今回の韓国派遣、5日間で学んだことはまず、韓国のご飯はとてもおいしかったということです。私はあまり辛い物は好きではないので心配でしたが実際は全ての料理が辛いという

わけではなくとてもおいしかったです。日本料理とまではいきませんが、日本でもある味だったのでやはりお隣の国だけはあるなおもいました。

次に日本と韓国の文化についてです。年次大会のように韓国ではパワフルに盛り上げて、日本ではフィールドワークなどでその土地を学ぶ、という大きな違いもあるかと思えば、建造物や、両国で人気の芸能人の話題なども似ているところもあると分かりました。日本語を学んでいる学生も多いと聞いたので、これを機会に韓国語を勉強してみるのも良いなおもいました。



最後に、両国間のお互いの認識についてです。これは韓国の学生と話している時に思ったのですが、日本で日本人が中国人や韓国人を嫌う人がいるように、韓国でも日本人や中国人が嫌う人がいるということです。これはその学生の親がそういう考えがあるそうです。そうゆうのは絶対にあると思っていましたが、私はこれから社会にでる者として、偏見の見方はあまりよくないと思います。今回は日韓の親善として海外派遣に向かったので、これから日本と韓国がもっと心の距離を縮めていけたらいいなと実感して思いました。

最後に、今回このような体験ができたのは、ロータリークラブの皆さんや先生方のおかげです。今回の海外派遣の経験を生かせるように私の今後の生活に役立てていけたらいいと思います。本当にありがとうございました。

韓国派遣報告

飛騨高山高校 IAC

下出慎之介さん

飛騨高山高等学校 環境科学科3年 下出慎之介です。今

回は韓国3600地区にインターアクト訪問研修に行ってきました。私はこれが初めての海外だったのでいつになく、とても緊張しました。



韓国に着いて、バスで移動している時、「ホームステイ先の家族と仲良くなれるか」、「会話はちゃんとできるか」などいろいろな不安でいっぱいでした。しかし、韓国のインターアクト部員の生徒と実際に話してみると、とてもやさしく接してくれました。また、ホストファミリーの方々も温かく迎えてくださり、気持ちが楽になりました。年次大会では日本と韓国の互いの文化を披露しあう良い機会になりました。しかし、韓国に滞在していて良いことばかりというわけではありませんでした。それは韓国の生徒と会話をしている時に気付きました。韓国では英語がなまっているということです。例えば仕事という意味の「ジョブ」が「チョップ」と聞こえたり満タンという意味の「フル」が「ブル」だったり、何度も聞きなおしたり、スペルを言われてようやく分かる発音がありました。またインターアクトの発音を「R」ではなく「E」で切るので「インターアクト」が「インタ・ラクト」と聞こえるのです。たった五日間という短い期間でしたが韓国の良いところ、悪いところ、日本と似ているところ、似ていないところなどたくさんのことを学べて良かったです。そして最終日、ホストファミリーとのお別れのとき、たくさんのお土産を用意してくれました。最初は「こんなにたくさん？」と戸惑ったのですが聞いたところによるとこれはもてなしの心なのだを教えてくれました。今回の韓国訪問研修では多くの韓国の文化を学ぶことができましたが、それ以上に人としての勉強ができたのが一番良かったです。そして韓国から帰ってきて私は少し自分に自信が持てるようになりました。

最後に海外派遣にあたって、援助して下さった高山西ロータリークラブのみなさま、先生方本当にありがとうございました。



第33回年次大会報告

飛騨高山高校 IAC顧問

荒川 一弘 先生

高山西ロータリークラブのご好意により17名の生徒、および引率として私と副顧問の中嶋が、三重県亀山市で行



例会報告

われた年次大会に参加することができましたことを感謝いたします。いよいよ来年の高山で年次大会も準備本番を迎えることとなりました。今年度は、高山西ロータリークラブからも田近年次大会準備委員長、寺田インターアクト副委員長をはじめ7人の方々がいっしょに視察に同行していただき心強いかぎりでした。

7時30分に高山駅を出発し、11時40分に亀山市に到着しました。私が顧問になった3年前は、部員も数えるほどで、年次大会に行くバスの中も斐太高校の生徒が多く、遠慮しながら桑名で行われた年次大会に行ったことを思い出します。現在は立場が逆転し少し誇らしい気持ちです。会場には、入り口に各校のインターアクト旗が飾ってあり、受付では例年ほど混雑もありませんでした。



受付の様子です。顧問の先生にお伺いしたところ、今回の年次大会のスタッフとして、顧問が3名、OB1名、生徒21名、亀山ロータリークラブ23名が運営に当たっているということ

でした。冊子とTシャツ、ネームタグをもらい、更衣後昼食会場に移動しました。広重の東海道五拾三次之内・亀山『雪晴』が冊子に貼ってありました。

昼食です。星★★というところでした。机の上に弁当が置いてあり、置いてある場所にそれぞれが自由に座り、食事を取り、ゴミをステージ前に持って行き、空いた席にスタッフが弁当を置くというシステムで、スムーズに運営されていました。来年もこの方法を採用したいと思います。



開会式ステージの配置です。まず、正面にテーマが印刷された看板、左に第2630地区インターアクト旗、ホストクラブ旗が掛けられています。正面に左に韓国国旗、右に日本国旗が掛けられています。右側にホストインターアクトクラブ旗が掛けられています。



次に演台の周りの説明をします。演台正面ペナントが飾られています。右側の席は、ガバナー、亀山市長、教育長席がそれぞれあります。左側の席は、亀山高校校長、亀山ロータリークラブ会長、亀山高校

インターアクト部長席がそれぞれあります。

開会宣言、点鐘の後、韓国国歌斉唱、君が代・インターアクトの歌斉唱を行いました。その後、各代表者挨拶が行われました。それぞれの挨拶には、簡単な韓国語の挨拶を入れてありましたので、来年度、挨拶を依頼するときは、そのことも忘れないようにすることが必要であると思います。功労者表彰の後、参加ロータリークラブ、インターアクトクラブの紹介が行われました。

アトラクションとして、韓国学生演舞が行われました。韓国の学生の来日スケジュールは変則的なので、必ず、1日目に行うほうがよいというアドバイスもいただきました。演目は、アリラン(韓国民謡)、

韓国の歌、日本の歌を歌ってくれました。最後に、韓国の人気女性グループKARAのミスターを踊ってくれました。



開会式、韓国学生による

アトラクションの後、関宿見学に出かけました。見学する前に、銘菓関の戸の深川屋のご主人が、全員に関宿の案内を説明してくださいました。関市がちょうど関東と関西の真ん中に位置しており、関の駅は、東に行くとJR東海、西に行くとJR西日本であるということや焼き海

苔と味付け海苔、あるいは丸餅と角餅の境界線であるという話を交え、非常に興味深いものでした。見学に出かける前とバスに帰ってきた後、お茶をいただき心遣いが行き届いていました。



関宿は東海道五十三次で47番目の宿場です。伊勢街道や大和街道の分岐点として、江戸時代を通じて繁栄しました。写真は関宿を代表する大旅籠のひとつ玉屋です。江戸時代に建築された貴重な旅籠建築に、当時使われていた道具類や、庶民の旅に関する歴史資料などを展示して、江戸時代に栄えた旅籠の姿を再現しています。土蔵では『東海道五十三次』で有名な歌川(安藤)広重の浮世絵を展示しています。最後の写真のかじやで手打ちの菜切り包丁を買いました。3,500



円でした。切れ味抜群です。高山の街はおみやげ屋さんば



例会報告

かりですが、関宿はそのようなものは全くなくただ昔のままに保存されているだけなのですが、落ち着いた佇まいで、高山は何か本質を見間違えているように思えてなりません。

夕食は、関ドライブインにて交流会を兼ねて7時30くらいまで行われました。それぞれが違う学校の生徒と夕食を共にし、ゲームを楽しみました。夕食は★でした。韓国の学生は翌日の早朝出発のため、この場でお別れとなりました。交流会は関宿でのクイズの景品発表もありとても盛り上がりました。



2日目のルートインでの朝食です。バイキング形式の食事で、★★★でした。とても美味しく、朝6時30分オープンということもあり、混雑はありませんでした。

2日目は、韓国留学生の報告、交換留学生の報告後、亀山高校吹奏楽部による演奏が20分ほどありました。記念講演は、日本ユニセフ協会三重県友の会事務局長 杉谷哲也氏による『何かが変わる 優しさの旅 ～メコン川に隣接する国々の山岳少数民族の子どもたち支援活動から学ぶこと～』という演題で行われました。メコン川流域の中国、カンボジア、ミャンマーから人身売買によりタイに集められた子供たちを守るために、現地で、小学校の教員援助やコミュニティ作りに尽力している様子を話していただいた。印象に残っている話は、どんなことであってもまず関心を持つこと、そして、特に教育が大切であるということでした。そのためには、先生が大切である。ただ先生も応援体制がないと頑張れない。そのことを今の日本は忘れていているということでした。



第2部として『私たちができる国際協力』というタイトルで、5人の現役インターアクト部員をパネラーとして、普段行っている活動の報告を中心に活発なディスカッションが繰り広げられた。飛び入りで、飛騨高山高校のインターアクト部員も指名され、3年生三人が、ステージに上がるというハプニングもありました。最後にステージに上がった学校全員で何かやろうということになり、飛騨高山高校にみんなでそうじに行くということになりました。本当に来てくれることを願っ

ています。

閉会式は篠田カウンセラーの講評を聞きました。言語はその国の文化であり、宝であるので、日本語を大切に、外国語も学んで欲しいということと来年度の年次大会への期待を述べられました。次期ホスト校の発表後、地区インターアクト旗の引き継が行われました。次期ホスト校を代表して、部長の山下華菜、次期ホストクラブを代表して、鍋島会長が挨拶をしました。亀山高校インターアクト部長の閉会宣言・点鐘で終了しました。



インターアクト旗受け取りと昼食配布風景です。昨年に続きパンでした。帰りのバスの中で食べる

ことができ、遠方より来ている高校には有り難いことでした。帰りのバスの中は、疲れもなく、斐太高校、飛騨高山高校仲良くカラオケ大会をしました。



今後の予定、課題

- 役割分担決め
- 運営マニュアル作り
- 予算決め
- 冊子、Tシャツデザイン
- 諸団体への依頼、説明
- 看板発注

今後の予定、課題としていくつかの項目をあげました。カウントダウンがすでに始まっています。今後、ロータリークラブの方々には、ご無理をお願いしなければならぬことが多々出てくると思います。私も微力ではございますが、高山に来ていただいたロータリークラブの方々やインターアクト部の生徒たちに良い思い出として残るような大会にしたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。



インターアクト副委員長
寺田 昌平

8月7日(土)、飛騨高山高校インターアクトクラブ顧問荒川一弘先生、副顧問中嶋麻美先生と生徒14名、斐太高校インターアクトクラブ顧問齊藤由美子先生と生徒10名、そして鍋島会長と私の総勢29名で、高山駅前を7時30分すぎに、委員長井辺さんの見送りを受け出発しました。

例会報告

途中S.A.で4回休憩を入れ、三重県内で14km程の渋滞にあり、会場である亀山市文化会館に11時45分頃到着。すぐに各校別・RC別に受付をし、会場内の指定場所、折弁当と紙パックのお茶がテーブル配膳されている場所で昼食をとりました。この会場ではスポンサー亀山ロータリアンとホスト亀山高校の部員が手際よく対応していたのが印象的でした。

年次大会の会館ホールは、役員表彰、各高校別に座席割がしてあり、スムーズに入場できました。会長と私は飛騨高山高校の指定席近くに着きました。



12時30分亀山高校インターアクトクラブの生徒司会の開会宣言、同校IAC会長の点鐘で始まり、13時15分頃式典終了。休憩をはさみ13時30分よりアトラクションとして韓国学生が演舞や歌を披露。その後五十三次の宿場町関宿の散策について、関宿に居住し店を営しながら観光の一役を担って見える方より簡単な沿革と建造物の説明がありましたが、高校生にも理解しやすく興味をそそるものでした。

生徒は8台のバス、ロータリアンはマイクロバス1台にそれぞれ便乗し、関宿の入り口まで移動。国の重要伝統的建造群保存地区(1984年・昭和59年選定)である関宿は、東西1800mの間に古い町家が約4mの道路を挟み200軒余りあり、平屋二階建てが一般的で、二階塗籠の土壁、出格子と幕板、馬つなぎ、環金具、ばったり(道路縁側より折りたたみの柵)、漆喰彫刻(虎・龍・亀・鶴等)などめずらしい建造物群でありました。1日のうち一番暑い時間で全身に汗をかき、写真撮影をしながら終点に着くと、ペットボトルのお茶をロータリアンと亀山高校の生徒諸君が配ってくれ、また移動した8台のバスと1台のマイクロバスが配車されており、冷たいお茶と涼しいバスに感謝しました。



ここからそれぞれバスで夕食および交流会会場の関ドライブインに移動しました。ドライブイン2階の会場は1000名ほど収容可能な食堂で、交流会では亀山高校インターアクター10余名が特設ステージで日本の歌韓国のアリランを合唱し、校長が電子ピアノ伴奏のもとトランペットを吹奏。引き続きゲームをし、大変盛り上がった交流会となりました。

翌日8日(日)9時より、亀山市文化会館ホールでは、大会会長挨拶で始まり、韓国派遣報告が二校の生徒よりされ、交換留学生 関有知 高校在学 オーストラリアのベンジャミン・デニス・ローチ(男子18

歳)の報告へと続きました。その後亀山高校吹奏学部(15名程)に同校長(トランペット)が加わり10分程演奏され、10分の休憩となりました。

10時5分より(財)日本ユニセフ協会三重友の会事務局長杉谷哲也氏の「何かが変わる〜少数民族の子どもたち支援から学ぶこと〜」と題しての講演。貧困少数民族の村長が、1軒1軒訪問し子どもの教育が大切だと親に訴え説得し学校を立ち上げ、一人の若い女性教師を採用し食事を作りながら学習させるという手段で通学意欲を高めたとの事。日本より学生を募り現場へ連れていくと「日本に生まれてよかった」「自分達にも出来る何かがあるはずだ。何かしたい」と意識が変わり「日本にない、学ぶべきものが沢山ある」と気づくとのお話でした。特にメコン川流域、ミャンマー・ラオス・カンボジア・ベトナム・中国等では、子どもが3万円程度の借金等で性的搾取・人身売買・児童労働等の被害にあうという問題が発生していると聞き、驚き、考えさせられました。講演終了後、杉谷氏がコーディネイターとなり5名の生徒のバネラーと質問・話題のやり取りや、会場の中からインターアクターを招き上げ様々な展開をされ、興味ある盛り上がったディスカッションとなり11時25分頃終了。

講評があり、次期ホスト校飛騨高山高校IAC部長山下華菜さんへIAC旗が手渡され、高校生らしい挨拶をされた後、次期スポンサークラブ会長として鍋島さんが立派にあいさ



つをされた後、閉会宣言、点鐘で閉幕。昼食のパン3個(亀の形1個含)とIAC旗一式を鍋島会長が受け取り、帰りのバスへ乗車しました。



亀山ロータリークラブ25名の少人数で年次大会を企画、すみやかに実施された事、そして亀山高校IAC部員のてきぱきした行動、ステージでの挨拶、歓

迎祝辞、講評、また派遣留学生報告等簡単明瞭でスムーズに進行されたことに感服しました。

来年のスポンサー、高山西ロータリークラブも恥じないようにと今から緊張しています。飛騨高山高校の絶大なご理解とご協力をお願いし、今大会の報告とさせていただきます。

例会報告

<ニコニコボックス>

●鍋島 勝雄さん

浴衣例会、親睦委員の皆様ありがとうございました。楽しいひと時を過ごさせていただきました。特にゲームに関して多くの賞品をいただきました。初めての試みとして夫婦例会にしても多数のご婦人に参加いただき感謝いたします。また、飛騨高山インターアクトクラブ荒川先生・山下さん・下出さんのご来訪、ありがとうございます。卓和よろしく申し上げます。

●中村 良平さん

・20日の納涼家族ゆかた例会、鴻野親睦委員長および親睦委員の皆様大変ありがとうございました。楽しい家族例会でした。
・先日、鍋島会長と村瀬さんのお見舞いに日赤に行きました。退院15分前でした。退院直前のお見舞いは、やっぱりニコニコですね。

●斎藤 章さん、山本 善一郎さん、田中 正躬さん

20日の納涼例会、楽しい企画ありがとうございました。親睦委員の皆様、ご苦勞様でした。賞品のお礼も含めてニコニコへ。

●新田 敬義さん

「ホーホーホータル来い。こっちの水は甘いぞ。あっちの水は苦いぞ。」あっちの水を3杯も飲んだ浴衣会でした。親睦委員会に感謝。

●阪下 六代さん

納涼ゆかた例会では親睦活動委員会の皆さんはじめ関係者のご尽力で楽しく過ごさせていただきました。ゲームで3度も賞を頂いた事と、ソングリーダーを勤めさせていただいた事に感謝してニコニコへ。

●井辺 一章さん

前回のゆかた例会ありがとうございました。

●中林 和夫さん

暑さも少しやわらぎ、痛風も治り、9月よりゴルフに行けますので喜んでます。納涼例会では「めでた」役で下手な音頭で誠に恥ずかしく思いました。「下手代」として少々。

●古橋 直彦さん

・妻の誕生日に綺麗な花をいただきありがとうございました。
・納涼例会で賞品をいただきましたのでニコニコへ。

●小田 博司さん

妻の誕生日26日花束が届きました。有難うございました。ゆかた例会楽しい時間でした。親睦委員の皆様ありがとうございました。

●親睦委員会 鴻野 幸泰さん、脇本 敏雄さん、門前 庄次郎さん、小林 勝一さん、垣内 秀文さん

先日の納涼ゆかた例会には、沢山のみなさんの参加、誠にありがとうございました。

●インターアクト年次大会準備委員長 田近 毅さん

亀山で行われたインターアクト年次大会に参加いただいた荒川先生、部員の皆様および次期大会の準備委員の皆様、大変暑い中ご苦勞様でした。ホスト校の苦勞やホストクラブのご苦勞を色々伺って帰ってきました。開催まで1年を切りました。当クラブのご協力をお願い申し上げます。

●寺田 昌平さん

・荒川先生、山下さん下出さん、多忙の中ありがとうございます。7～8日年次大会暑い中ご苦勞様でした。本日の韓国派遣報告、年次大会報告よろしく申し上げます。

・20日の浴衣例会、楽しいひと時ありがとうございました。

●米澤 久二さん、寺田 昌平さん、堺 和信さん、河渡 正暁さん

飛騨高山高校インターアクト部の皆様と顧問の荒川先生、7～8日亀山でのインターアクト年次大会参加、お疲れさまでした。来年の年次大会のホストクラブとして、何回もステージに登り、ある時は突然指名され高山の紹介と参加を訴えられ、大変だったと思います。本日は年次大会の報告よろしく申し上げます。

●三浦 弘行さん

明日は店のゴルフコンペで猛暑の関ヶ原CCで行きます。昨日練習場のマスターが賞品を提供してくれるとの事で、豪華キャディーバッグとパター練習機を頂きました。たぶん優勝は自分ですので、頂いた賞品は若い子のために、何か賞を作ってあげたいと思います。西濃地区は飛騨地区以上に暑い日が続いていますので、熱中症にならぬよう頑張ってきます。

●垂井 政機さん

今、サークルKサンクス限定にてもキリンビール秋味を買っていただきますともれなく駅弁ストラップがついてきます。我社の海運さるぼぼ弁当もありますので、よろしくお買い求めください。

●高山西RC 二四会

第24代久保田会長、垂井幹事年度に結成された24会は、久保田氏、垂井氏居られなくなり、解散することになりました。会費の残金全額をニコニコへ。

●寺田 一夫さん

29日(日)飛騨世界生活文化センターにて、坪内流第20回芸能大会が開催されます。家内、娘、孫2人が三味線と踊りに出ます。入場無料です。時間がありましたらお出かけください。